

たかけい学報

The Bulletin of Takasaki City University of Economics

高経大生の
キャンパスライフを
サポートする情報誌

サポ-ートル-ム

01-04

心身ともに
健康が一番!

05-06 卒業生に聞く!

07-08 研究室紹介

09 学生クローズアップ

10 留学体験記

11-12 学科・学会ニュース

13 鶴鷹祭/三扇祭

14-15 たかけいINFORMATION

no.

112

心身ともに 健康が一番！



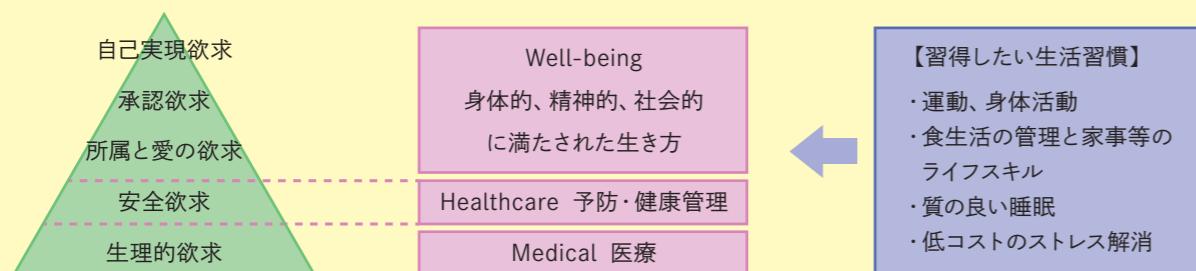
1 「身体」の健康について

1-1 めざしてほしい健康概念と生活習慣

健康に自信がある若い学生の皆さんは、健康の大切さはわかるけれど関心はないという人が多いと思います。実は、若い時の健康管理と生活習慣が、数十年後の健康を握る鍵になっているので

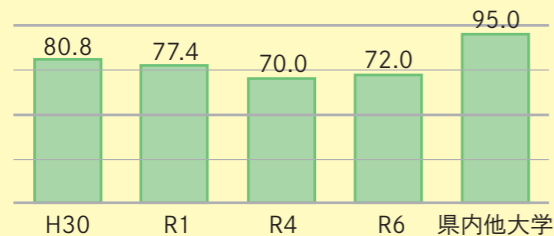
す。学生時代に「知力、体力、生活力」をバランスよく身につけることが、Well-being的健康の基礎となり、ひいては将来の自己実現達成に繋がると言われています。

○ マズローの欲求と健康領域の関係



1-2 数字で見る経大生の健康課題

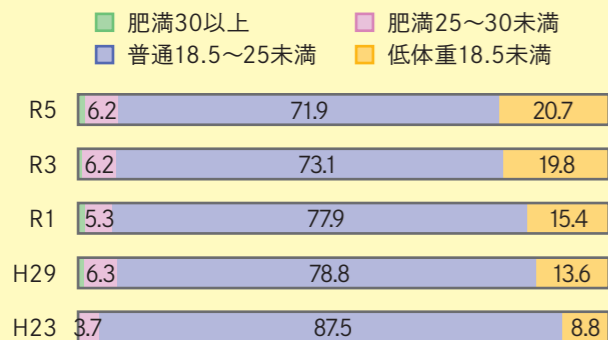
○ 健康診断受診率(%)の低迷



進んで健康診断を受ける学生は、体調管理はもちろん、よりよい生活習慣の習得に高い関心を示していました。

「自分は健康だから受ける必要はない。」という学生は、自身の感知力が正しいか否かを確認する機会にしてほしいです。

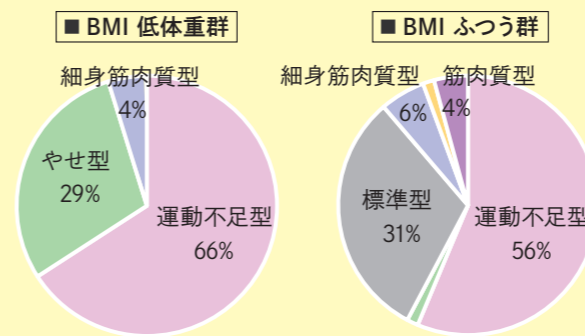
○ 肥満度BMIの推移(低体重やせの急増)



SNSやメディアによる「痩身体形が美しい」という価値観が影響し、ここ数年で、低体重やせが男女ともに増加しました。

ダイエットに興味がある人は5割、ダイエット経験者は2割、やせる必要のない体型の人がダイエットをしていました。

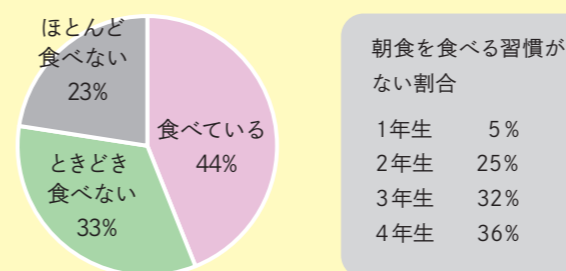
○ 体組成計による体系判定



BMI低体重とふつうの学生を対象に体組成計(体脂肪)検査を行いました。どちらも筋肉量の少ない運動不足型が半数以上でした。

運動不足型の9割は、汗をかく運動や身体活動に親しむ習慣がないと回答。標準、筋肉質型は、運動・身体活動習慣がありました。

○ 朝食摂取状況



朝食を食べる習慣がない割合

1年生	5%
2年生	25%
3年生	32%
4年生	36%

4年生の4月時点での朝食摂取と、成績(GPAと取得単位数)の関係を調査。朝食摂取群はGPA・取得単位数ともに高い値を示しました。
朝食をとると単位もとれる!



1-3 「保健室」からのメッセージ

高崎あるある

- ・異常な乾燥による、肌荒れとアトピー性皮膚炎の悪化。
- ・キャンパス南を流れる烏川にはびこる雑草で365日花粉症。
- ・台風並みの強風が吹き荒れ、自転車で転倒しけがを負う。
- ・髪が痛む。

こころと身体は、繋がっています。

身体の不調の原因がこころから生じることも。ひたすら自力で解決しようとする、逆にこじれます。悩みや不安を感じたら、話す伝える勇気を持って。

身体を動かすことを習慣にしよう。

- おすすめは、
- ・早歩きで通学
 - ・学内では階段を使用
 - ・活動の多いアルバイトに従事
 - ・自宅でスマホやゲーム機を使った筋トレや体操

1-4 「保健室」を利用しよう

保健室では、定期健康診断や健康相談、医療機関の紹介や、けがの応急処置等を行っています。また、心身の健康に関すること、些細なことでもご相談ください。随時、身長・体重・体脂肪・握力・血圧測定・聴力検査・視力検査・色覚検査・尿検査・アルコールパッチテスト等を希望者に行っています。日頃の健康情報として役立ててください。



2 「心」の健康について

2-1 大学生の「心」の健康

皆さんには「自由」と「限らない可能性」があります。学びたいものが自分で選択できます。様々な人との出会いがあります。一人暮らしでは、24時間誰にも邪魔されず過ごすことができます。部活・ボランティア・アルバイト・やってみたかったことに、何でもチャレンジできます。

実際に行動してみると、思っていたような結果がでないこともあるでしょう。傷ついて泣きたくなることもあるでしょう。失敗が怖く

て一歩も踏み出せなくなることもあるでしょう。

「自由」であるということ・チャレンジするということは、とても辛いこともあります。

一人で解決できないこともあります。一人で頑張ろうとせず、周りの信頼できる人を頼ってください。

相談先として、ぜひ学生サポートルームをご利用ください。

○ 大学生のメンタルヘルスの課題

〈令和5年度 学生の中途退学者・休学者数の調査結果について:文部科学省HPより〉

中途退学理由

- 第1位 転学・進路変更等
- 第2位 **学生生活不適応・修学意欲低下**
- 第3位 就職・起業等

休学の理由

- 第1位 海外留学
- 第2位 **うつ病等精神疾患**
- 第3位 経済的困窮

〈大学における自殺予防の手引き2024:文部科学省HPより〉

現代の学生は、急速な社会的な変化の中で、多くのストレスやプレッシャーにさらされており、メンタルヘルスの問題も増加・複雑化しています。その最たる問題が学生の自殺であり、

大学における非常に重要な課題となっています。自殺は年代死因の第1位です。

○ 近年の学生の悩みの理由

- ・学業不振・進路（グループワークが苦手・人前で発表ができない・やる気が起らない 等）
- ・性格・孤独（不安が強い・緊張しやすい・内気 等）
- ・家庭関係（親や家族との不仲 等）

○ 悩みの解決方法

- ・自分で解決する＝マインドフルネス 呼吸法・筋弛緩法・気晴らし
- ・信頼できる人に相談する＝ 友人・先輩・家族・教職員・本学カウンセラー・バイト先

○ 日頃から心の健康に努めましょう

- ・バランスの良い食事 体を作る ⇒ 肉・卵・豆・乳製品等
体の調子を整える ⇒ 野菜・果物
エネルギーになる ⇒ 穀類・イモ類 等
- ・適度な運動 ウォーキング・階段昇降
- ・人とのコミュニケーション 1日1回は、誰かと話そう
- ・睡眠時間の確保 0時～2時は熟睡タイム 6時間以上の睡眠



2-2 「学生サポートルーム」へようこそ

○ 相談窓口

学生相談・カウンセリング

不安や人間関係に関する悩み等に対して専門家である公認心理師やスタッフが、話をお聴きします。

予約制、秘密厳守

気軽に相談、たわいもない話OK

◆カウンセリング開設日時

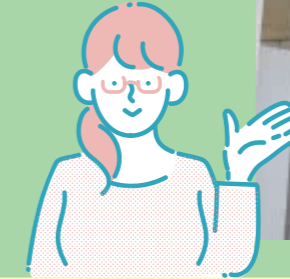
10:00～16:00

月 火 水 木 金

午前 ○○○○○

午後 ○○○○

※開設日時は変更となる場合があります。



○ 障害学生支援相談

○ ハラスメント相談

○ 開催しているプログラム

こころセミナー・リフレッシュROOM

◆利用に際して

開室時間 9:00～17:00

場 所 7号館2階

連絡先 TEL:027-344-7502

MAIL: supportroom@tcue.ac.jp



○ 利用者の声(匿名)

・サポートルームは、授業で困ったことだけでなく、生活の中で困った事など、友人には相談しにくいことなどを気軽に相談できる場所だと思います。親身になって解決方法を一緒に探してくれるなど、優しい雰囲気が出て居心地が良いです。

・友達とかに相談しにくいことや個人的な内容などを相談しています。悩んでいることとか、気になっていることとか、時には雑談もできます。日々の授業やサークルや部活・一人暮らし・就活・ゼミのことなど、何でも相談に応じてくれます。サポートルームの人もカウンセラーさんも親身になって話を聞いてくれるので、考え事の整理に役立つと思います。ここ

ろの悩みもからだの悩みも気軽に相談できて、より良い大学生活を歩んでいくためにも良い場所だと思います。

・少し休みたい時、勉強したい時、お昼ご飯を食べたい時などに、ふらっと立ち寄れる場所です。サポートルームの方たちがとても優しいので、日頃のちょっとした悩みや困っていることなども気軽に話すことができます。

・相談するだけでなく、ゆっくり課題をしたい時やぼーっとしたい時に利用しています。落ち着く場所でたいへんありがたいです。定期的に「リフレッシュROOM(交流会)」も行われていて、同級生や先輩・後輩とお話し、心を落ち着かせることもできます。

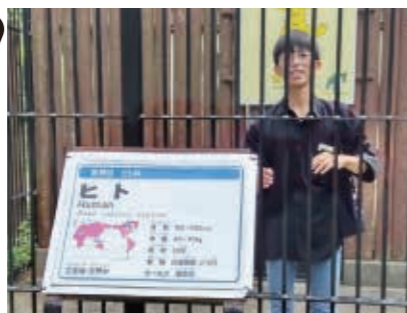




経済学部経営学科

佐藤海里

(秋田県立秋田南高等学校出身)



私は「熱血!高校生販売甲子園」実行委員会に所属しています。入学してから、この団体のことを知りました。入学早々、出来立ての友達と新歓に行ってみたのがきっかけで、入部しました。初めての新歓に少し緊張していたのを覚えています。

販売甲子園とは、高崎駅前大通り、高校生がオリジナル商品を販売し、優勝を競い合うイベントです。大学生は実行委員会となって、年間その企画や準備、そして当日の運営を行います。主役は高校生、舞台は街なかの商業祭をつくりあげていく団体です。

1、2年生のころは、これまでの大会を創り上げてきた先輩方から様々なことを学びながら、自分たちなりの大会づくりを試行錯誤することができて、とても楽しかったです。また、地域のイベントやボランティア活動にも参加し、高崎の魅力をたっぷり肌で感じました。駅改札前に大きなダルマを運んだり、観音山ファミリーパークで気球に乗らせてもらったり、たくさんの貴重な経験ができました。

3年生時は、代表として頑張ることができました。しかし、先頭で立って大会を準備していく中で失敗も数多くありました。自分のミスでトラブルを引き起こしてしまったり、考えなしの言動で周りに迷

惑をかけてしまったり、その度に反省を繰り返しました。一年間山積みの仕事やひっきりなしに起こるトラブルに対処していくのは苦しくもありましたが、それでもとても楽しく感じた一年間でした。それは大会開催を目標にして、共に頑張ることができた心強い同期、先輩後輩がいたからこそです。

この販売甲子園での経験や考え方は、就職活動などにも活かしていくことができました。これからも大切にしていきたいと思っています。

また、ゼミでは、「ピブリオバトルの競技性」について研究しています。高校生まではいちプレイヤーとして挑戦してきたピブリオバトルですが、その競技性について多角的に他スポーツと比較したり、ルールから考慮したりすることで、ピブリオバトルの教育的効果の有用性を踏まえながら、それを批判的に捉えることは、個人的に大変面白く感じています。

大学生活ではたくさんの学びを得ることができます。皆さんには大学生活でたくさんのことにチャレンジし、楽しむ気持ちを大切にしたいと思っています。

卒業生に聞く! > > >

- Q1. 高崎市の率直な印象
- Q2. 高崎周辺おすすめグルメ
- Q3. 大学生活一番の思い出
- Q4. 後輩へのメッセージ



経済学部
湯本 春菜
(明和県立高等学校出身)

- A1 田舎寄りの住みやすい都会
- A2 いち川、洋食ACERO
- A3 部活動に所属したことです。友達が増えて楽しかった。
- A4 大学4年間はあっという間なので楽しんでください!



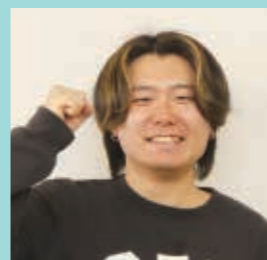
経済学部
加藤 慶一
(愛知県立岡崎北高等学校出身)

- A1 地元の岡崎市と似ていて生活しやすかったです。
- A2 麵屋 桜木
- A3 体育会本部のみんなと週1回集まって会議したことです!
- A4 やりたいこと全部やりましょう。



経済学部
小畑 捺希
(群馬県立前橋東高等学校出身)

- A1 県庁所在地の前橋より都会だなあと感じました。そんな私は前橋市民です。
- A2 バイト先の「和入良」です。美味しい和食と日本酒を楽しみたい方はぜひ!
- A3 部活動に所属してそこから部活動以外でも繋がりができ、様々な出会いがあったこと。
- A4 4年間で短かったと思うくらい毎日を全力で楽しんでください!



経済学部
伊賀 圭亮
(山形県立山形南高等学校出身)

- A1 家賃が安く、車に乗ることができて、東京も遠くない! 大学生のための街です。
- A2 豚骨ラーメンだるま大使
- A3 剣道部や体育会本部の仲間たちと、一つの目標に向かって汗と涙を流したことは最高の思い出です。
- A4 激安の中古の軽で十分です。車を買っちゃおう。世界が変わります。



地域政策学部
若月 詩歩
(群馬県立高崎女子高等学校出身)

- A1 22年間住んでいますが、とっても住みやすい街です。
- A2 蕎麦・酒 たばちよ というお店です。手打ちのそばはもちろん季節のお料理も絶品です。
- A3 大学で過ごした丸ごと全部思い出です!
- A4 4年間あっという間なのでたくさん挑戦して失敗することがいいと思います。



地域政策学部
高橋 怜希
(新潟県立長岡大才高等学校出身)

- A1 程よく都会
- A2 下小鳥町の海皇(ハイホアン)
- A3 テニス部と体育会本部の活動
- A4 徒歩、自転車よりも速い乗り物を手に入れてください。



地域政策学部
梶田 結衣
(群馬県立高崎女子高等学校出身)

- A1 群馬で1番都会なイメージ。
- A2 CM2CAFE(生パスタが美味しい!) ラーメン赤沼(夜遅くまでやっているのでバイト終わりにおすすめ!)
- A3 部活やバイトなどの日常、体育会本部での思い出、友達とたくさん旅行したこと!
- A4 楽しそうなこと全部やりましょう! どんな4年間にするのか、あなた次第です!



経済学部
齋藤 優真
(宮城県仙台南高等学校出身)

- A1 田舎過ぎず都会過ぎない。4年間学生生活した場所として最高の場所でした!
- A2 居酒屋あし火高崎本店。土鍋ご飯が絶品です!
- A3 ハンド部で過ごした4年間でどれもかけがえのない思い出です。
- A4 更なる体育会の繁栄を望んでいます! きましたれ体育会!!



地域政策学部
伊藤 信峰
(長野県長野西高等学校出身)

- A1 長野市より都会で、とにかくラーメンが美味しい。
- A2 うどん居酒屋まさか
- A3 大好きな仲間と過ごす中身の無い時間が最高に好きな思い出です。
- A4 とにかく、遊びも飲み会も行くか迷ったら行きなさい。

経済学部 経済学科 准教授

服部 昌彦

研究分野/
産業組織論

学位/
博士(経済学)(同志社大学)

担当授業(学部)/
産業組織論I・II、ゲーム理論II、基礎演習、演習I・II



好奇心を持って
調べ、考えよう!

プロフィール

大阪出身で、大学から大学院までは京都にいました。夏は暑く、冬は寒い過酷な京都ですが、文化的な施設が多く、大人になるほど楽しめる場所なので、機会があれば遊びに来て下さい。大阪はUSJに行くと、タコ焼きを食べて下さい！ 趣味は合気道で最近では筋トレやバスケットにはまっています。この年からでも新しいことを始めると楽しいことがたくさんあるので、皆さんも気になったことにたくさん挑戦してみてください。

高崎で子供を育てていますが、子育て環境は非常に良いと思います。フルーツ狩りや巨大な公園、川遊びや雪遊びなど、自然豊かな魅力がたくさんあると思います。パン、パスタ、ラーメン、うどんなどの小麦製品はどれも美味しく、子供の心をわし掴みです。学生さんにはパーベキューやキャンプ、釣りやラフティング、スキーやスノーボードなど群馬の自然を楽しんでいただければ嬉しいです。

現在の研究テーマを選んだきっかけ

経済学の好きな所は、合理的な考え方を学べること、人や集団同士の関係性を読み解くこと、効率性を改善できることなどがあります。社会という捉えどころのないものを、合理的選択という武器を使って分析していくことは非常に面白いですし、そこから人間の非合理的な行動を理解するのも大切だと思っています。また、社会が使えるエネルギーやマンパワーなどの資源には限りがあるので、これらをかか効率的に運用するかを考えるのも楽しいです。

少し制度を変えることで、みんなの幸せを大きく高める可能性がある産業組織論は大学生で初めて学んでから今までずっと好きな学問分野です。一見すると非合理的な企業の行動が、ミクロ経済学やゲーム理論といった分析手法で読み解くと、背後にある合理的な理由を分析することが出来ます。企業の行動原理を理解したうえで、どのような経済政策を行えばみんなが豊かになれるのか、考えることが非常に楽しいです。

ゼミでの活動内容

ゼミは学生さんの興味関心を一番考えて運用しています。卒業研究は1年をかけて自分の興味があるテーマを調べ、疑問を持ち、自分なりの仮説を立てる取り組みです。自分が興味のあることはなかなか見つかりませんし、1年をかけて自分なりの仮説を考えるようなテーマを見つけることも難しいと思っています。面白いことを見つけ、自分なりの仮説を立証していく楽しさを感じてもらいたいと思っています。

また、ゼミ生同士の交流も大切にしています。自分なりの考えを聞いてくれる人がいるのは貴重ですし、他のゼミ生から自分には無い考えを知ること大切な経験だと思っています。同級生はもちろん、他学年ともディスカッションやディベートなどで交流する機会を設けるようにしています。

ゼミ生の希望が行動経済学やフィールドワークを通じた企業への取材など、私の専門では無いことも多いですが、学生と一緒に学び、楽しくゼミ活動を行っています。



地域政策学部 地域づくり学科 准教授

齊藤 由倫

研究分野/
環境社会学、地域環境政策論

学位/
博士(地域政策学)(高崎経済大学)

担当授業(学部)/
環境社会学、物質と環境、環境教育論、フィールドワーク入門、初年次ゼミ、グループ研究II、基礎演習



大学での成長に
寄り添う



プロフィール

出身は群馬県館林市です。高校ではラグビーに打ち込み、県優勝にあと一歩届かずでしたが、部活と勉強の難しい両立や仲間とのチームワークを築いた日々は今の私の礎になったと感じています。大学は当時まだ珍しかった「環境」の名を冠した学科のある農学部に進みました。化学や物理の理系の諸学だけでなく、環境問題の背景にある社会構造にも目を向ける学びが多かったように思います。ここでの学びがその後の仕事にもつながったことを思うと、大学教育の意義の深さを改めて実感するとともに教員としての職責の重さも痛感しています。

卒業後は群馬県衛生環境研究所に勤め、大気環境や放射線など多岐にわたる調査研究に携わらせて頂きました。また、上司の理解もあって仕事と学業をどうにか両立させ博士の学位取得を果たせたことも大変な難かったです。今年度着任した本学では、こうした実務経験を踏まえビジネスマナーや社会人としての姿勢も伝えていけたらと思っています。

趣味はキャンプ、ハイキングなどのアウトドア全般です。

研究テーマ

ごみ減量の住民意識と普及啓発施策に関する研究

じつは、本学がある群馬県は家庭から出る一人1日当たりのごみの量が全国最多です。ごみはその収集、焼却、埋め立てに税金が使われ、さらには種々の環境負荷も発生します。そのため自治体は政策によって、住民の自発的なごみ減量行動を促そうとしますが課題が多いのも事実です。たとえば「3R」の単語は良く知られていますが、中身の「Reduce(減量)>Reuse(再利用)>Recycle(再生利用)」の優先順位まではあまり浸透していません。私の調査でも、ペットボトルは分別してリサイクルさえすれば十分で、そもそも買わないといった減量意識に乏しいことが確認されています。逆に言うと、ごみ減量の意識が社会に浸透すれば、ごみ減量が進んでいく余地は残されているとも考えられます。

全国のごみの少ない自治体ではどんな普及啓発施策が進められているのか、これまで特に注目がされてきませんでした。私はこの分野に焦点を当て、Web調査やインタビュー調査、アンケート調査などから各施策の詳細とごみ減量効果を分析しています。

ゼミでの活動内容

環境研究を通じた成長

ゼミは今年度開講したばかりでまだ2年生しかいませんが、「環境問題を社会科学の視点で研究する」をテーマに最終ゴールの卒業論文を目指して徐々にステップアップをしていきます。おおまかには①環境問題に関する基礎知識の習得、②グループ研究を通じたアカデミックスキルの向上、③個人による卒業研究の遂行、といったステップです。たとえば①の段階の現2年生は、自ら「廃棄物」「温暖化」「生物多様性」のテーマを選び各問題の実態や関連政策の現状をグループで調べてきました。調べた内容をゼミ内でプレゼン発表することで、環境問題の情報をバランスよく相互学習するとともに広範な知識の定着も図っています。

教室外にも飛び出して食品ロス削減の全国大会に参加したり、ときには他ゼミとの合同レク「ボーリング大会」を企画したりと自由な雰囲気の中で互いに積極性も高め合っていると思います。





地域政策学部 地域政策学科4年 山田 凌大

「JFNラジオCMコンテスト2024～ラジオに乗せて、学校アピール～」でFM GUNMA優秀賞を受賞

JFNラジオCMコンテストとは

このコンテストは、JFN38局と日本の次世代を担う全国の学生がタッグを組み、学生自身の学び舎をテーマに、自由な発想と表現力の披露の場が設けられたものです。全国で最初に設立された高崎経済大学の「地域政策学部」という珍しい学部の魅力を1人でも多くの方に伝えたいという想いで応募しました。

JFNラジオCMコンテストに応募したきっかけ

大学1年生の時に、「日清食品株式会社2代目群馬どん兵衛部長」に就任しました。地元食材を使ったアレンジレシピやそのネーミング、お客さまが食べてみたいと思うようなレシピのキャッチコピーを、社員の方と一緒に考えました。そして、FM GUNMA「POTLUCK」の群馬の大学生のいまを伝えるコーナー「ユニラジ」に「日清食品株式会社2代目群馬どん兵衛部長」として出演し、「群馬の魅力度アゲアゲ!じゅわっとグンマーコロッケどん兵衛」を紹介しました。自分が一生懸命考えて生み出したアイデアを多くの方に知ってもらうことに喜びを感じ、ネーミングやキャッチコピー、ラジオCMなどのコンテストに応募するようになりました。大学2年生の時には、岩手県の新ドギーバッグ(持ち帰り容器)アイデアコンテストのネーミング部門で最優秀賞に選んでいただき、「おあげんせバッグ」と命名されました。そして、今年度のJFNラジオCMコンテストでFM GUNMA優秀賞を獲得することができました。

ラジオCM作成で工夫したこと

ラジオCMを真剣に聴こうとしている人は少ないため、最初の数秒でリスナーを惹きつけることが大切だと思います。今回受賞した作品は「ここでお知らせです。今日の日本は昨日と比べておよそ100トン軽くなりました。」というアナウンサーのセリフで始まります。人は体重を測ることができますが、国は重さで表されないので変な感じがすると思います。この違和感こそがリスナーを惹きつけるための最大のポイントです。少子高齢化による人口減少が人の数ではなく、重さで報道される世界を表現することで、様々な視点から社会課題と向き合う必要性を訴えることができたと思います。

後輩のみなさんへメッセージ

ネーミングやキャッチコピー、ラジオCMなどのコンテストは、誰でも簡単にチャレンジできるため魅力的だと思います。映像は、企画、撮影、編集などによる負担が大きいです。ラジオは音声のみで情報を届けられるため手軽に始められます。また、聴覚にのみアプローチするラジオの特徴を活かして、リスナーの想像力を掻き立てることで、印象に残る作品に仕上げることができると思います。ラジオCMコンテストへの積極的な参加などを通して、高崎経済大学の特色が広く発信されていくことを期待しています。



経済学部 国際学科4年 鈴木 美智子

留学先:アイルランド(ダブリンシティ大学 DCU) 留学期間:2023年9月~2024年5月(約8ヶ月)

私は、アイルランドのダブリンシティ大学に2学期間留学していました。この交換留学を通して得たものや学んだことは主に3つあります。

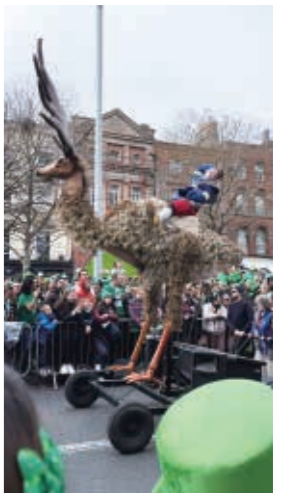
まず、ヨーロッパの学生の政治や経済、国際情勢に対する関心の強さです。日本の授業では一般的に世界情勢について考える機会が少ないように感じますが、ダブリンシティ大学の授業ではヨーロッパの学生は常に社会問題と世界情勢に関心を持ち、積極的に自分の意見を言っていると実感しました。授業スタイルも周りの学生と議論することが多いため、文化による考え方の違いも感じ取りました。また、受講した講義の中で「International Peace-keeping and Peacebuilding」(平和維持構築学)が一番印象に残りました。教授は一人ひとりの学生に異なる発表テーマを与え、学生はテーマに沿った調査、5分に詰め込んだ発表とそれに対して質疑応答が行われました。私が与えられたテーマは「国家は外部から(再)建設できるのか?アフガニスタンのような最近の例から洞察を提供する。」でした。課題の難易度だけでなく、一人ひとりに一つずつ課題を与えるということにも驚きました。この課題を通して、英語で書かれた情報を収集し整理する力を身につけ、英語のプレゼンテーションのやり方も学ぶことができました。

次に、日本の良さや課題を発見しました。日本のサービス精神とおもてなしの心はとても素晴らしいものだ改めて実感しました。アイルランドで学生ビザを予約するために電話をした際には、電話越しで英語が聞き取りづらく、私が聞き返すと怒鳴られました。自分の英語の下手さに失望したと同時に、

日本とは違う対応に戸惑いました。一方で、日本の課題はワークライフバランスだと考えます。ヨーロッパでは17:00~18:00頃に閉店するお店が多く、土日や祝日に閉店するお店もあります。店員は椅子に座ってスマホをいじることができ、お客様とお喋りしながら仕事することもできます。ワークライフバランスに対する意識はとて高く、仕事の取り組み方も違うと感じました。日本を一步出たことで、社会の構成員として自分に何ができるかを考える貴重な原体験になり、幅広い視野を身につけられたと思います。

最後に、臨機応変に物事に対応できるように成長したと感じます。他人のスリの瞬間を目撃したこと、近くでテロが起きたことなど、留学中は様々なハプニングに遭い、日本の治安の良さは当たり前ではないということを強く認識しました。しかし、ハプニングや事件を通して、自分の防犯意識を高めることもできました。焦ってパニックになっても何も解決しないため、冷静に状況を分析し、落ち着いて行動することが大切だと学びました。

今回の留学では新しい環境に飛び込み、今までの人生では見えないはずがなかった「美しい景色」にたくさん出会うことができ自分は幸せ者だと感じます。夢のような留学経験は宝物となり、人生の中で一番大切な思い出として心に残っています。





NEWS 01

経済学科 経営学科

高経大+高経附「高大コラボゼミ」 成果発表会を開催しました

高崎経済大学附属高等学校との高大連携事業「高大コラボゼミ」の成果発表会が、8月22日(木)に本学において開催されました。「高大コラボゼミ」は、経済学科の矢野修一ゼミナール3年生と附属高校3年文系オナークラスの生徒がそれぞれの班に分かれ、半年間に渡って企業研究を行う取り組みです。発表では、各班代表の大学生、高校生による英語スピーチに加え、対象企業の現状や課題、改善に向けた提案について報告されました。

また、2025年1月23日(木)には経営学科の阿部圭司ゼミナールとともに課題に取り組んできた附属高校2年生による成果発表会が高崎市市民活動センター・ソシアスで開催されました。



NEWS 02

経営学科

「Student Innovation College 2024」で 佐藤敏久ゼミの学生チームが「テーマ1位」及び 「日本マーケティング学会賞」に選ばれました

経営学科の佐藤敏久ゼミナールから参加したチームが、株式会社堀商店のテーマ「人気競技に育つスポーツ玩具」で1位となり商品化の権利を得ました。また、あわせて「日本マーケティング学会賞」も受賞しました。「Student Innovation College 2024」は、全国30大学37ゼミ506名の3年生による159チームが、ゼミ対抗で商品の企画を提案し、発売を目指インターカレッジです。「秋カン」(大会)でコンセプトを競い、「冬カン」で商品化権を最終プランで競い合い、翌秋カンでは発売実績にもとづき総合優勝を争奪します。



NEWS 03

国際学科

国際学科海外語学研修 プレゼンテーション大会を開催しました

10月16日(水)、国際学科主催の「海外語学研修プレゼンテーション大会」が開催されました。国際学科海外語学研修に参加した学生有志11名が、現地での体験や語学研修の魅力を様々な視点でプレゼンテーションしました。個性溢れる発表のなか、今回の最優秀賞は川上彩芽さん(国際学科3年)の「短期留学の意義」が選ばれました。川上さんは、留学を断念した友人の姿や留学前に感じていた自身の不安を振り返り、今回の海外語学研修を通じて実感した短期留学の意義を正直に語りました。「留学に行こうか迷っている人に、私の経験を伝えたい」という川上さんのメッセージは、参加者全員に深く響きました。



NEWS 04

国際学科

野崎教授がブータン王国において、 日本の経済開発の経験を紹介しました

国際学科の野崎謙二教授が、2024年8月にブータン王国において、ブータン王国財務省とJICAブータン事務所の共催のプロジェクトで講演を行いました。このプロジェクトは、現在急速な経済成長を目標と掲げるブータン王国に日本の経済成長の経験を伝えることを目的として行われたもので、ブータン王国のLekey Dorji財務大臣をはじめ多くの財務省関係者が参加しました。野崎教授は明治期の日本の産業近代化にかかる政策や第二次世界大戦後の復興政策を解説し、活発な議論が行われました。



NEWS 05

地域政策学科

若林准教授の研究成果が 英国Natureグループの旗艦誌 「Nature Human Behaviour」に公表されました

地域政策学科の若林隆久准教授が所属する研究チームの研究成果が、英国Natureグループの旗艦誌「Nature Human Behaviour」に公表されました。研究チームは、ビデオゲームが日常における主観的ウェルビーイング(メンタルヘルス及び人生満足度)を向上させることを明らかにしました。

NEWS 06

地域政策学科 地域づくり学科

本学の学生が群馬県警察本部より 「大学生少年サポーター」を委嘱されました

群馬県警察本部は、少年の非行防止と健全育成を図るため県内の大学生に「大学生少年サポーター」を委嘱しています。2024年度は、本学地域政策学科・地域づくり学科の学生5人を含む19人が委嘱を受け、補導や支援活動、少年の非行・被害防止のための街頭キャンペーン等の活動を行っています。



NEWS 07

地域政策学科 地域づくり学科

「群馬の地酒」動画コンテスト2024」で 鈴木耕太郎ゼミの学生チームが最優秀賞を、 若林ゼミの学生チームが優秀賞を獲得しました

群馬県酒造組合稲水倶楽部が主催する「「群馬の地酒」動画コンテスト2024」において、地域づくり学科の鈴木耕太郎ゼミナールから参加したチームが最優秀賞を、地域政策学科の若林隆久ゼミナールから参加したチームが優秀賞を獲得しました。このコンテストは、これからお酒を飲み始める若い世代に、学びを通じて群馬の地酒(日本酒)の魅力に触れ、成果物を生み出すことでスキルアップを図り、より多くの方に「群馬の地酒」の魅力PR、発信することを目的としています。



NEWS 08

観光政策学科

JAファーマーズ高崎棟高店で片岡ゼミの 学生が共同開発した「梅スモークウインナー」 の販売と学生が制作したPOPが設置されました。

2024年12月7日(土)、JAファーマーズ高崎棟高店で、観光政策学科の片岡美喜ゼミナールの学生と共同開発した「梅スモークウインナー」が販売されました。この取り組みは、JAファーマーズ高崎棟高店の2周年記念事業の一環として、「ぐんまのおいしさを伝える逸品」を開発することを目標に「地産地消」にこだわったものです。

長期熟成生ハム製造で知られる育風堂精肉店(みなかみ町)の全面的な協力を得て、高崎の名産でもある「梅」と県産豚肉のおいしさを活かした新しいウインナーです。

また、同店内では、片岡ゼミの学生が制作した地産野菜の「コトPOP」も設置されました。学生が出荷農家の取材や実際に食べてみた経験を生かし、地産地消の野菜の魅力を紹介しています。

12月7日(土)、8日(日)には、梅スモークウインナーの開発に関わった学生が店頭で商品を紹介しました。



第48回鶴鷹祭開催

第58期高崎経済大学体育会本部 代表幹事
経済学部4年 齋藤 優真

第58期高崎経済大学体育会本部代表幹事、男子ハンドボール部所属の齋藤優真です。

鶴鷹祭とは昭和48年より続く、高崎経済大学と都留文科大学の公立大学2校の体育会活動による総合体育対抗戦です。高崎市の「タカ」、都留市の「ツル」をそれぞれ動物の「鷹」と「鶴」になぞらえて、その名前が付けられました。両校がプライドを懸けた戦いを繰り広げ、互いに切磋琢磨し合いながら絆を深めることを目的としています。6連覇に王手をかけるホーム戦となった第48回鶴鷹祭は13-7で本学が勝利し、見事、史上初となる6連覇を達成しました。また、今大会では鶴鷹祭が大学にとって、体育会にとって、より特別なものになるように、体育会以外の団体にも運営の協力を依頼しました。司会進行に放送研究会、開閉会式の行進に吹奏楽部、オープニングセレモニーにダンスサークルのSparkleに参加していただき、競技終了後の交歓会では軽音楽部による「カクヨウ LIVE」を開催しました。

2日間を通じて大きな盛り上がりを見せた第48回鶴鷹祭は、大学同窓会・後援会、地域の方々、地元企業様の協賛に支えられて大成功を収めました。来年は敵陣、都留文科大学にて開催予定です。次に高崎経済大学で開催予定の2年後の鶴鷹祭は50回記念大会となります。今後とも高崎経済大学体育会の活動にご理解ご協力の程、よろしくお願いたします。



2024年

鶴鷹祭 & 三扇祭 結果報告

挑戦の三扇祭

第67回三扇祭実行委員会 委員長
経済学部3年 武田 周斗

令和6年11月2日から4日の3日間開催された、第67回三扇祭は、3日間でのべ10,249人もの方々にご来場いただき、大盛況のうちに終えることができました。

67年の歴史のある学園祭である三扇祭、今年は更なる進化を目指してクラウドファンディングに始まり、公式キャラクターみつまるの誕生や、総合体育館を使った三扇祭初のライブイベントなどさまざまな事に挑戦してきました。どの取り組みも多くの皆様から好評をいただき、新しい三扇祭の可能性を見つけることが出来たと思います。また、昨年度より強化している地域の皆様との連携した取り組みとしては、昨年度に引き続き高崎オーパ様とのコラボ企画や高崎まつりへの参加の他にも、今年度は新しく同窓会様との企画や地元の皆様との連携企画を開催し、三扇祭に更なる活気をもたらすことが出来ました。

今年のテーマ「Bloom」には、多くの笑顔が咲き誇るイベントにしたいという想いを込めています。3日間多くのお客様の楽しそうな姿を見てテーマの通り満開の笑顔の花を咲かせることができた実感しております。

様々な挑戦をしていく上で本当に多くの皆様のお力添えをいただきました。第67回三扇祭がここまで盛り上げられたのは、大学関係者の皆様をはじめ地域の皆様、企業様など多くのご支援のおかげです。この場をお借りして実行委員を代表して御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

最後になりますが、三扇祭の可能性は無限大だと感じました。本学の歴史とともにさらに進化していくと思います。そんな三扇祭を今後ともよろしくお願いたします。



たがけい INFORMATION

大学事務局からのお知らせ

高崎経済大学基金の活用について

高崎経済大学では、全国の卒業生及び保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、多くの方からいただいた寄附金を様々な学生支援事業に活用させていただいております。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

高崎経済大学基金の名称

- ・高崎経済大学三扇基金
- ・糸井ホールディングススポーツ活動奨励基金
- ・キーテクノロジー留学奨励基金

基金活用実績

- ・スポーツ活動奨励奨学金貸与
- ・留学奨励金給付

ご支援いただいた方への顕彰

高崎経済大学基金にご支援をいただいた方に感謝の意を表し、大学ホームページにご芳名を掲載させていただきます。(ただし、公表をご希望されない方については掲載いたしません。)また、本基金では、寄附金額に応じ寄附者の方へ感謝状を贈呈しております。賜りましたご厚志は、ご寄附の趣旨に沿い、有効に活用させていただきます。今後とも高崎経済大学基金の活動にご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社キンセイ産業様 (令和6年6月12日)



小見紀久男様 (令和6年7月3日)



株式会社キーテクノロジー様 (令和6年10月9日)

高崎経済大学三扇基金へのご寄附のお願い

高崎経済大学三扇基金では、「教育環境の整備」、「学資の貸与や給付」、「就職活動への支援」、「課外活動の充実及び甚大な災害により被害を受けた学生への特別な支援」を目的とした寄附金を募っています。寄附の申込方法等詳細については、本学のホームページをご確認いただくか、経理チームまでお問合せください。本基金の趣旨をお汲み取りいただき、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●問合せ先

総務グループ経理チーム
027-343-5416 (kikin@tcue.ac.jp)



ボランティア活動

ボランティア活動を支援します

「大学生生活を充実させたい」「仲間に出会いたい」「興味があるけれどどうやって探したらいいかわからない」などボランティアに関する様々な相談に乗っています。ボランティア活動を通して、授業やアルバイトでは得られない経験をしてみませんか。学生協働スタッフも活動しています。興味のある方はボランティア支援室まで!

令和6年度活動実績

学生ボランティア登録数	476人 (令和6年11月末現在)
令和6年度 派遣人数	1054人 (令和6年11月末現在)

主な活動先

高崎市環境フェア、高崎まつりボランティアリーダー、たかさきハロウィン実行委員、キングオブパスタ等

●問合せ先

学生ボランティア活動支援室 027-329-6714 (volunteer@tcue.ac.jp)

健康診断について

4月に定期健康診断を実施します。全日程、予約制です。詳しい予約方法については、3月上旬にポータルサイトのほかホームページでお知らせいたします。健康診断の結果は、就職活動・実習・大会参加・留学関係・バイト関係等、様々な場面で必要となりますので、必ず受けてください。

- ◎予約開始日時：3月17日(月) 10時から
- ◎健診受付予約時間：各日、9時から16時30分まで 10分単位での予約
- ◎健診に要する時間：おおよそ40分
- ◎健診受付場所：7号館2階

●問合せ先/保健室 027-343-5418 (hoken@tcue.ac.jp)

学生サポートルーム 027-344-7502 (supportroom@tcue.ac.jp)

学生相談について

学生生活におけるあらゆる相談を受け付けています。公認心理師等が、心の不安、人間関係に関するご悩みなどをお伺いいたします。保護者からのご相談もお受けしています。学生と一緒に、もしくは保護者の方のみでも構いません。個人にかかわる相談内容等の秘密は厳守しますので、安心して相談してください。

障害学生支援について

障害等の理由により、修学上の支援が必要な学生に対し様々な支援を行っています。支援を希望する方は、学生サポートルームにご相談ください。本人の状況を考慮し、対応方法を検討します。

主な支援内容

①視覚障害	・ノートテイク、授業資料等のテキスト化、代筆・代読 ・定期試験時の支援（時間延長、問題の読み上げ等）
②聴覚障害	・ノートテイク、定期試験時の支援 （リスニング試験等の配慮）
③発達障害	・講義の録音許可、パソコン筆記の許可、 連絡の個別伝達、座席の配慮

上記以外の障害・支援内容についてもご相談ください。

※相談は、面談のほか、Web、電話、メールでも行うことができます。

●問合せ先

学生サポートルーム 027-344-7502 (supportroom@tcue.ac.jp)

同窓会からのお知らせ

支部総会の開催について

今年度各地で開催された、同窓会支部総会です。

No	支部	開催日	開催場所
1	桐生支部	5月11日(土)	ペーカリーカフェレンガ
2	栃木支部	6月8日(土)	ホテルサンルート佐野
3	群馬支部	6月29日(土)	ホテルメトロポリタン高崎
4	三重支部	7月20日(土)	プラトンホテル四日市
5	富山支部	7月27日(土)	富山電気ビルディング
6	新潟支部	9月21日(土)	万代シルバーホテル
7	宮城支部	10月5日(土)	DUCCA仙台駅前
8	鹿児島支部	10月12日(土)	鹿児島サンロイヤルホテル
9	広島支部	10月19日(土)	メルパルク広島
10	東京支部	10月19日(土)	東京グリーンパレス
11	オホーツク支部	10月19日(土)	北見プラザホテル
12	札幌支部	10月26日(土)	札幌ガーデンパレス
13	山形設立支部	10月26日(土)	山形グランドホテル
14	長野支部	10月26日(土)	ホテル信濃路
15	関西支部	11月9日(土)	新大阪ワシントンホテルプラザ
16	静岡支部	11月9日(土)	静岡県教育会館
17	大分支部	11月9日(土)	酒食 回
18	福井支部	11月23日(土)	一えい
19	飯田支部	11月30日(土)	ホテル弥生
20	愛媛支部	12月1日(日)	坂の上の雲ミュージアム
21	岩手支部	12月7日(土)	ホテルニューカーリーナー
22	徳島支部	1月25日(土)	ホテルアストリア

●問合せ先

同窓会事務局（学生支援チーム）027-329-6693



同窓会に関する情報はこちらから

後援会からのお知らせ

令和6年度の活動トピックス

「支部総会」を5支部で開催

今年度、支部総会を関東甲信越・東北・北陸・東海・北海道の5支部で開催しました。支部総会では後援会からの決算・予算の報告や大学からの現況報告のほか、保護者向けセミナーとして「学生の就職」に焦点をあてた就職情報会社による講演やOB・OGによる就職体験談などを聴いていただきました。また、都合により会場に足を運べない保護者に向けて、関東甲信越支部総会の模様を録画配信させていただきました。



保護者の皆さんへ「就職情報の提供」

学生就職に関する情報提供として、3年次生の保護者へ「保護者版・就職ハンドブック」2年次生の保護者へ「就職ハンドブックのダイジェスト版」を昨年に引き続き配布しました。昨今の学生の就職事情がわかる資料です。ぜひ、御一読ください。

「学生応援チケット」を配布

物価高騰の中、生活に困窮する学生への支援を行うため、生協での食事や購買に利用できる「学生応援チケット」（1人4,000円分）を配布しました。



プロジェクター14台を大学へ寄贈

2号館・3号館・6号館の中小教室に「プロジェクター」14台を大学に寄贈しました。老朽化に伴い授業に支障を来していたことから、大学より要望を受け、昨年の大教室用のプロジェクターに続けての今回の寄贈となりました。

マイクロバスの買替え

後援会所有のバス2台のうちマイクロバスを老朽化に伴い買い替えました。今後とも、安全運行に努め、体育会・文化サークルの遠征・合宿やゼミナールのフィールドワークなど学生の課外活動を支援していきます。



高経会館の利用について

大学より徒歩5分に建つ宿泊・研修施設です。宿泊室は全て個室となっており、教職員だけではなく、学生、保護者や同窓生もご利用いただけます。宿泊を予約する場合は下記後援会事務局まで電話にてお申込みください。尚、学生の利用にあたり、通学を目的とする日常的、継続的な宿泊利用については制限させて頂いておりますので、ご了承願います。

令和7年度の支部総会について

令和7年度の支部総会の開催日程については、7月中旬をメドにホームページ及び保護者宛の通知にてお知らせする予定です。

●問合せ先/後援会事務局 027-344-7902

